

# 新型コロナウイルス感染症対応に係る専修学校における遠隔授業の取組事例

## 日本航空専門学校／北海道

**【授業開始】** 4月2日に予定していた授業開始を  
4月9日に延期

**【期間】** 4月9日～5月15日（状況により延期有）  
1日平均6時間の授業を実施

**【対象】** 全学科（3学科）/学科教育  
航空整備科：282名  
空港技術科：200名  
国際航空ビジネス科：176名

**【方法】** タブレット型PC、大型モニター設置、  
カメラを使用した同時双方向型授業  
（スマートフォン対応可能）

### 【内容】

- ・2月中旬より準備を開始
- ・3年前より行っている本学独自のeラーニング教材を使用した授業
- ・出欠確認、ホームルームを実施（学生の顔を確認）
- ・実習機材をカメラで撮影しながら説明
- ・実習を伴う授業は学科教育を先行して実施



### 【内容】（続き）

- ・航空整備科は国土交通大臣指定航空従事者養成施設のため原則、対面の教育となっているが座学の授業においては双方向のオンライン授業とeラーニング教材を使用し進捗確認を行うことで航空局から正式な授業として認められた。
- ・一等航空整備士養成コースの3年次の教育はエアライン(JAL/ANA)の指定養成の教育を学内の教官と共同で行うプログラムとなっている。今回の双方向オンライン教育も各エアラインより承諾を得ている。